

# 【第2次札幌新まちづくり計画 平成20年度進行管理評価結果】

## 『政策目標3 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街』

### 重点課題2 障がい者の自立支援の促進

#### < 施策の基本方針 >

障がいのある人々が、持てる能力を十分に発揮し、福祉サービスの支援を受けながら、自らの意思で地域の中で自立と社会参加の実現を図れるよう、障がい者グループホームをはじめとした居住環境の整備を進めます。また、障がいのある人を雇用する民間企業等への就労促進策を拡充するなど、自立支援の促進を図ります。

#### 事業費の進捗率

(H19決算額 + H20予算額) 6,780,388千円 / (計画事業費) 12,143,000千円 : 55.8%

#### 施策別の主な取組内容

##### 19年度(実績)

【施策1】共生に根ざした健やかな地域生活の支援  
 ・グループホーム等新規設置数 20カ所(補助13カ所)  
 ・相談支援事業所 B型・C型各1カ所増(全12カ所)  
 ・住宅入居等支援事業開始(10月～、4カ所)

【施策2】協働による障がいのある人への就労支援  
 ・障がい者協働事業実施事業所数 6カ所(障がい者雇用数36人)  
 ・知的障がい者を対象としたホームヘルパー3級養成研修(受講障がい者11人)

【施策3】障がいのある人にもやさしいまちのバリアフリー化  
 ・「優しさと思いやりのバリアフリー」のルール策定部会 1回開催  
 ・地下鉄駅エレベーター等設置(南郷7丁目駅ほか2駅)  
 ・ユニバーサルデザインの公園整備(33公園)  
 ・地下鉄駅施設のバリアフリー化(北18条駅ほか6駅)

##### 20年度(予定)

【施策1】共生に根ざした健やかな地域生活の支援  
 ・「(仮)日常生活あんしんサポートセンター」の開設  
 ・グループホーム等新規設置数 26カ所(補助12カ所)  
 ・相談支援事業所 B型・C型各1カ所増(全14カ所)  
 ・精神障がい者退院促進支援事業開始

【施策2】協働による障がいのある人への就労支援  
 ・「元気はっけん(派遣)事業」の開始  
 ・障がい者協働事業実施事業所数 7カ所(障がい者雇用数49人)  
 ・「障がい者地域活動支援センター(就労者支援型)」の設置

【施策3】障がいのある人にもやさしいまちのバリアフリー化  
 ・「優しさと思いやりのバリアフリー」のルール策定部会 5回開催  
 ・地下鉄駅エレベーター等設置(北12条駅・北18条駅)  
 ・ユニバーサルデザインの公園整備(41公園)  
 ・地下鉄駅施設のバリアフリー化(東札幌駅ほか8駅)

#### 市民・企業等との協働の状況

市民との連携、市民参加  
 ・福祉除雪事業：多くの住民が地域協力員として参加(2,612人)  
 ・福祉と多世代のふれあい公園づくり事業：ワークショップの開催(3回)

企業等との連携、協働  
 ・福祉除雪事業：地域の企業、学校、福祉施設、NPOなど様々な団体が参加(219団体)  
 ・障がい者協働事業：民間企業における障がいのある人を雇用した新規事業の実施や事業拡大

市民・企業等が参加しやすい環境づくり  
 ・障がい者協働事業：法定事業(就労移行支援・就労継続支援A型)の人数要件等の緩和や民間企業の設置も認めることによる参加しやすい仕組み  
 ・福祉と多世代のふれあい公園づくり事業：ワークショップ開催時に「キャンドルづくり」や「障がい者も楽しめる軽スポーツ」などを実施

#### 評価(成果)と課題

【施策1】共生に根ざした健やかな地域生活の支援  
 ・居住環境の整備(グループホーム等の拡充など)や相談支援・療育支援体制の充実～社会資源の着実な整備  
 居住環境の整備や相談支援・療育支援体制の一層の充実 障がいのある人の生活を地域全体で支えていくネットワーク体制の整備

【施策2】協働による障がいのある人への就労支援  
 ・法定事業(就労移行支援・就労継続支援)のほか、障がい者協働事業の拡充や「元気はっけん(派遣)」事業などの新たな取組～就労支援体制の充実が図られてきている。  
 企業の理解促進、障がい者の能力向上、雇用の安定などの課題への対応～本計画に計上している事業の効果の検証及び見直し 北海道労働局などとの連携による効果的な事業展開 授産製品の販路拡大などに係る全庁的な取組

【施策3】障がいのある人にもやさしいまちのバリアフリー化  
 ・地下鉄駅エレベーターの設置など公共施設のバリアフリー化(計画通りに整備)、人の目で確認していく新たなバリアフリーのルールづくりの議論の本格化～誰もが安心して、安全で快適に暮らせるまちづくりの進展  
 公共施設の計画的なバリアフリー化 新たなバリアフリー化のルールの実効性確保 公共交通事業者などとの一層の連携、協働

#### 今後の重点取組

障がいのある人の自立促進～「生活面の安定」「就労支援」が重要  
 ・生活面の安定…相談支援・療育支援の一層の充実 障がいのある人を地域全体で支えていくネットワーク体制の整備  
 ・就労支援…「元気はっけん(派遣)」事業などの効果の検証及び見直し 既存の事業や他機関で実施している事業との連携を考慮した効果的な就労支援施策の実施

#### 主な達成目標の状況

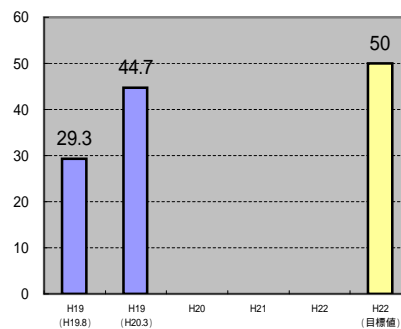
達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H19(実績)
(福祉除雪)利用世帯の満足度	90%以上(H22)	90.2%	94.3%
(高齢者・障がい者の生活あんしん支援)総合的な相談窓口の設置	設置(H20)	検討	検討
社会福祉協議会の法人後見事業の実施	実施(H20)	検討	検討
(精神障がい者退院促進支援)事業参加病院数(累計)	36病院(H22)	-	-
[障がい者雇用マッチング]本事業により企業などに派遣される障がい者数	5人/日(H22)	-	-
元気ショップ2号店の開設	開設(H22)	-	-
障がい者地域活動支援センター(就労者支援型)設置箇所数	1カ所(H22)	-	-
[知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成]講座を受講した障がい者数(累計)	25人(H22)	-	11人
利用者5,000人/日以上 JR駅バリアフリー化(累計)	12駅(H22)	9駅	9駅
ノンステップバスの導入台数(累計)	75台(H22)	51台	57台
大通バスセンター耐震化	完了(H21)	-	協議
エレベーター未設置の地区センター数	7カ所(H22)	10カ所	10カ所
優しさと思いやりのバリアフリーのルール策定	策定(H22)	検討	検討
[ユニバーサルデザインの公園づくり]身障者対応便所の整備率	30%(H22)	20%	23%
バリアフリー公園数(累計)	4カ所(H22)	2カ所	2カ所
[誰もが歩きやすい歩行空間ネットワーク]重点整備地区バリアフリー化率	100%(H22)	71%	82%
あんしん歩行エリア等の形成数	12エリア(H22)	9エリア	9エリア

#### 主な施設・サービスの整備水準

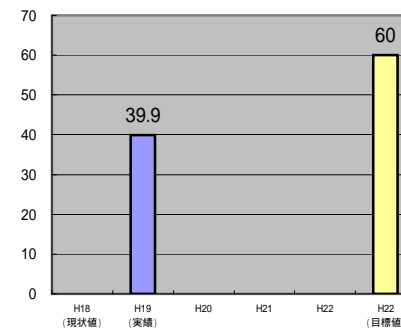
施設(サービス)名	整備水準	H18(現状)	H19(実績)
障がい者グループホーム等	268カ所(H22)	164カ所	184カ所
障がい者相談支援事業	相談支援:16カ所(H22) 住宅支援:7カ所(H22)	相談支援:10カ所 住宅支援:0カ所	相談支援:12カ所 住宅支援:4カ所
障がい児等療育支援事業	8カ所(H22)	5カ所	6カ所
障がい者協働事業	10カ所(H22)	3カ所	6カ所
地下鉄駅エレベーター等設置	47駅(H22)	43駅	45駅
地下鉄駅施設のバリアフリー化	49駅(H22)	22駅	29駅

#### 成果指標等の動向

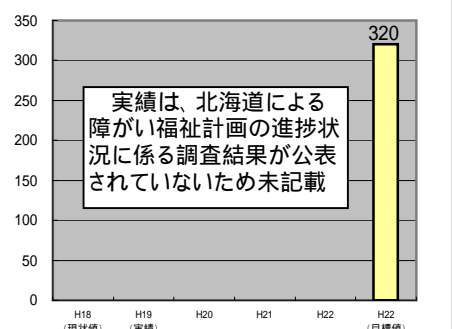
まちのバリアフリー化が進んでいると感じる障がいのある人の割合(単位:%)



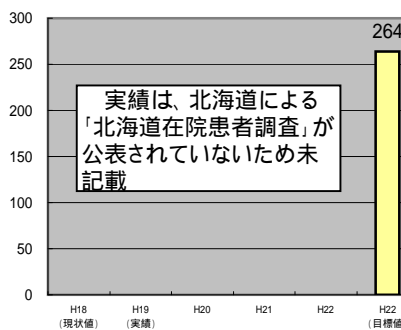
まちのバリアフリー化が進んでいると感じる人の割合(単位:%)



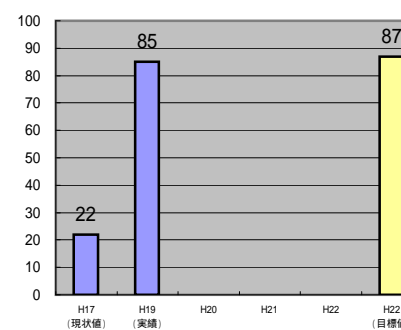
入所施設の入所者の地域生活への移行者数(H19～22累計)(単位:人)



入院中の精神障がい者の地域生活への移行者数(H19～22累計)(単位:人)



福祉施設から一般就労への移行者数(単位:人)



実績は、北海道による「北海道在院患者調査」が公表されていないため未記載

実績は、北海道による「障がい福祉計画の進捗状況に係る調査結果」が公表されていないため未記載